



【SCP-235-JP】は狐の面を模したオブジェクトである。
古来から蒐集院により保管されていたが、当財団への移管時に紛失した。

本オブジェクトは【SCP035】と似た習性を持ち、被った人の身体を奪う面である。
そのため、近くの人間に自らを被りたくさせるよう精神に干渉を及ぼす。

1 身体の支配



【SCP-~~██████~~_JP】を被ったら人間はもう、自らの意志で外すことはできない。
被ってしまった者は、身体を【SCP-~~██████~~_JP】に奪われていく。

この時、絶頂に近い身体反応を何度も観測できるが、本オブジェクトが未収容ということあり
【SCP-~~██████~~_JP】が身体を乗取る行程については依然不明な点が多い。

2 肉体の入手



身体を手に入れた【SCP-2000-JP】は、ある目的のために彷徨い始める。

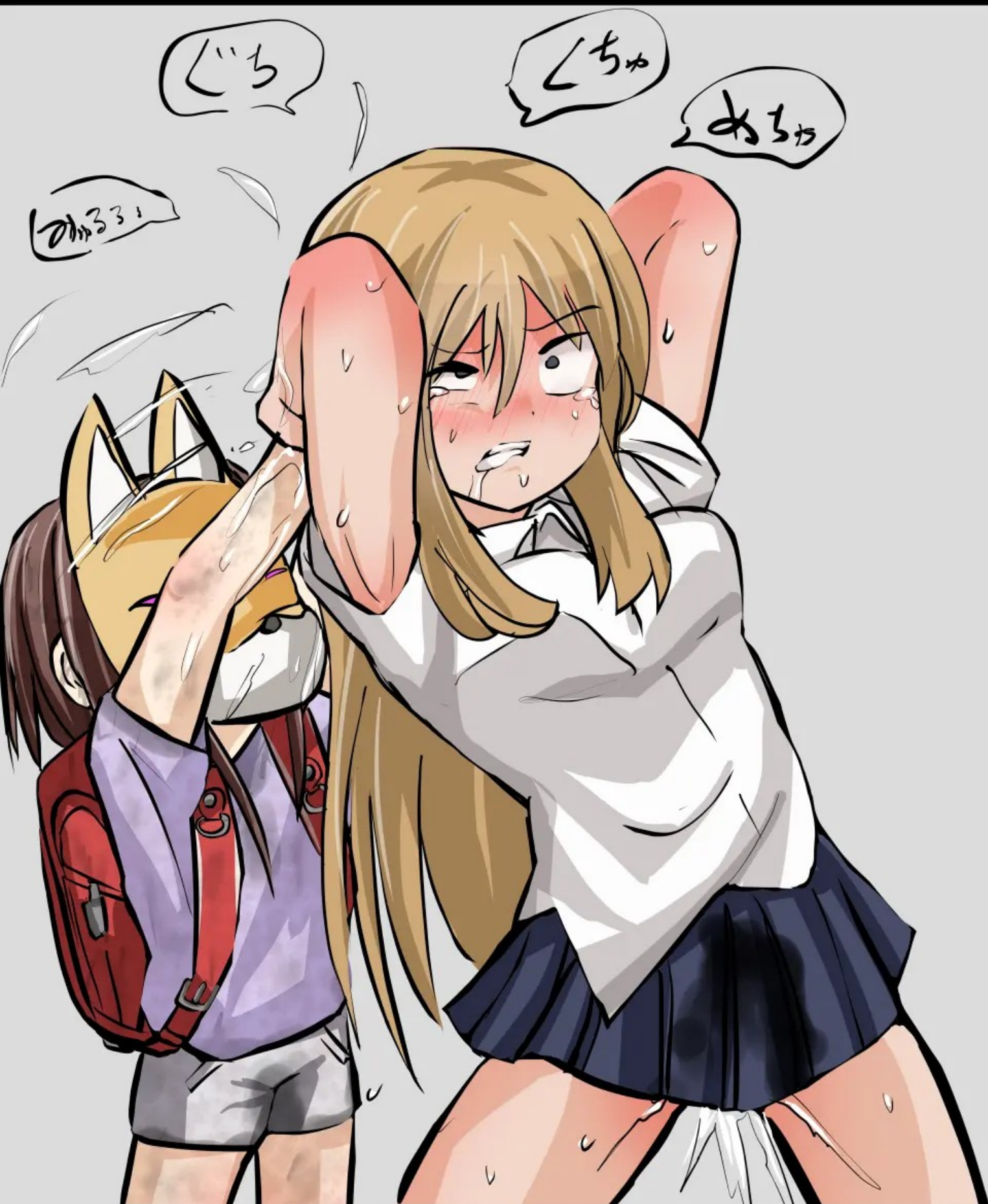
狐の面であるためか、【SCP-2000-JP】に乗っ取られた身体の振る舞いや生理行動は、人間ではなく野生動物のそれになり下がる。

3 “つがい”の選定



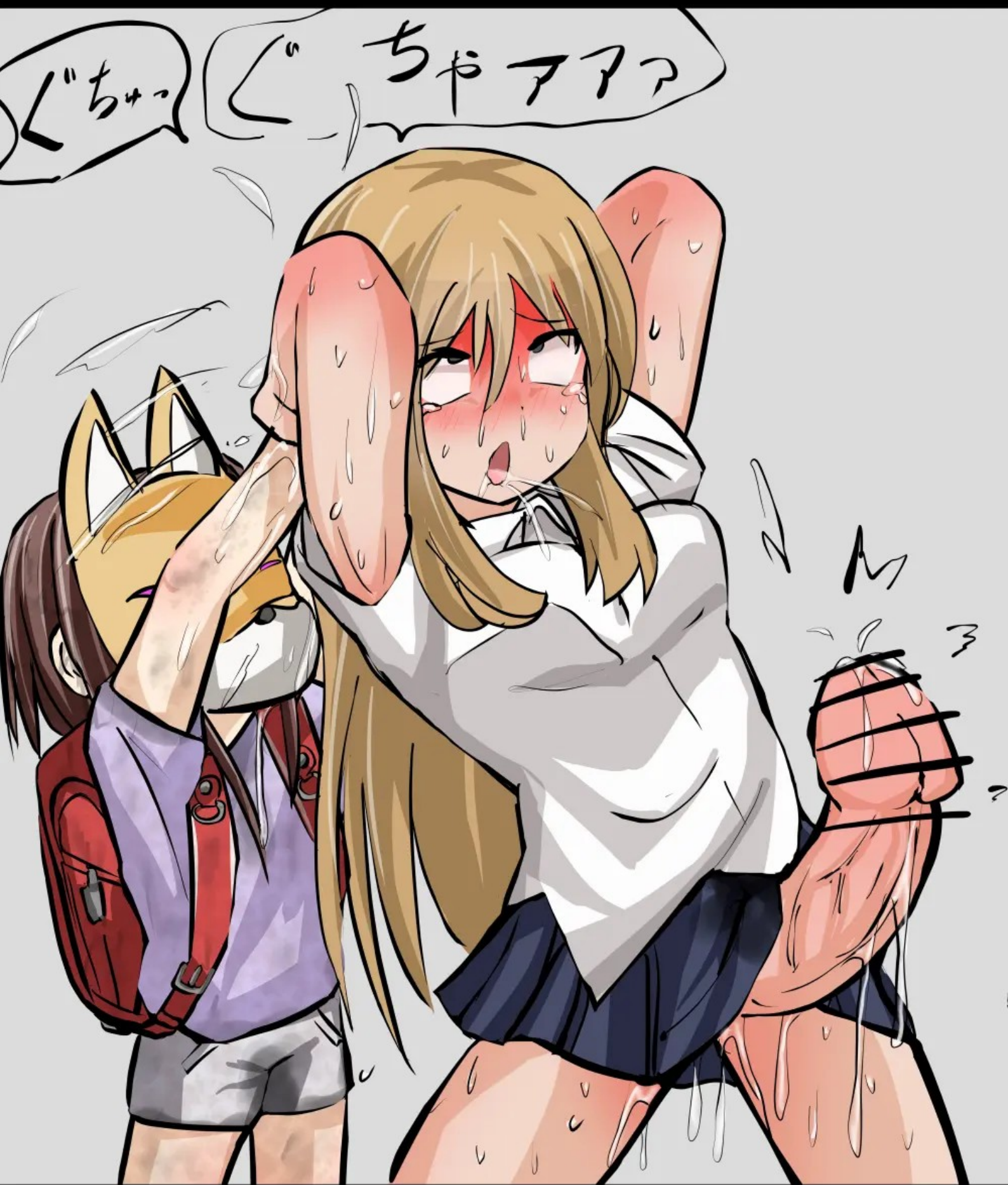
【SCP-096-JP】が身体を奪い、彷徨い歩く目的は“つがい”を見つけるためである。
“つがい”の選定基準は不明である。
また、“つがい”にする人間を見つけたとき、
乗っ取られた身体は酷使され続け、すでにボロボロであることが多い。
これは【SCP-096-JP】が身体を、ただの道具として乗っ取り使っている証左と言える。

4 “つがい”の調整



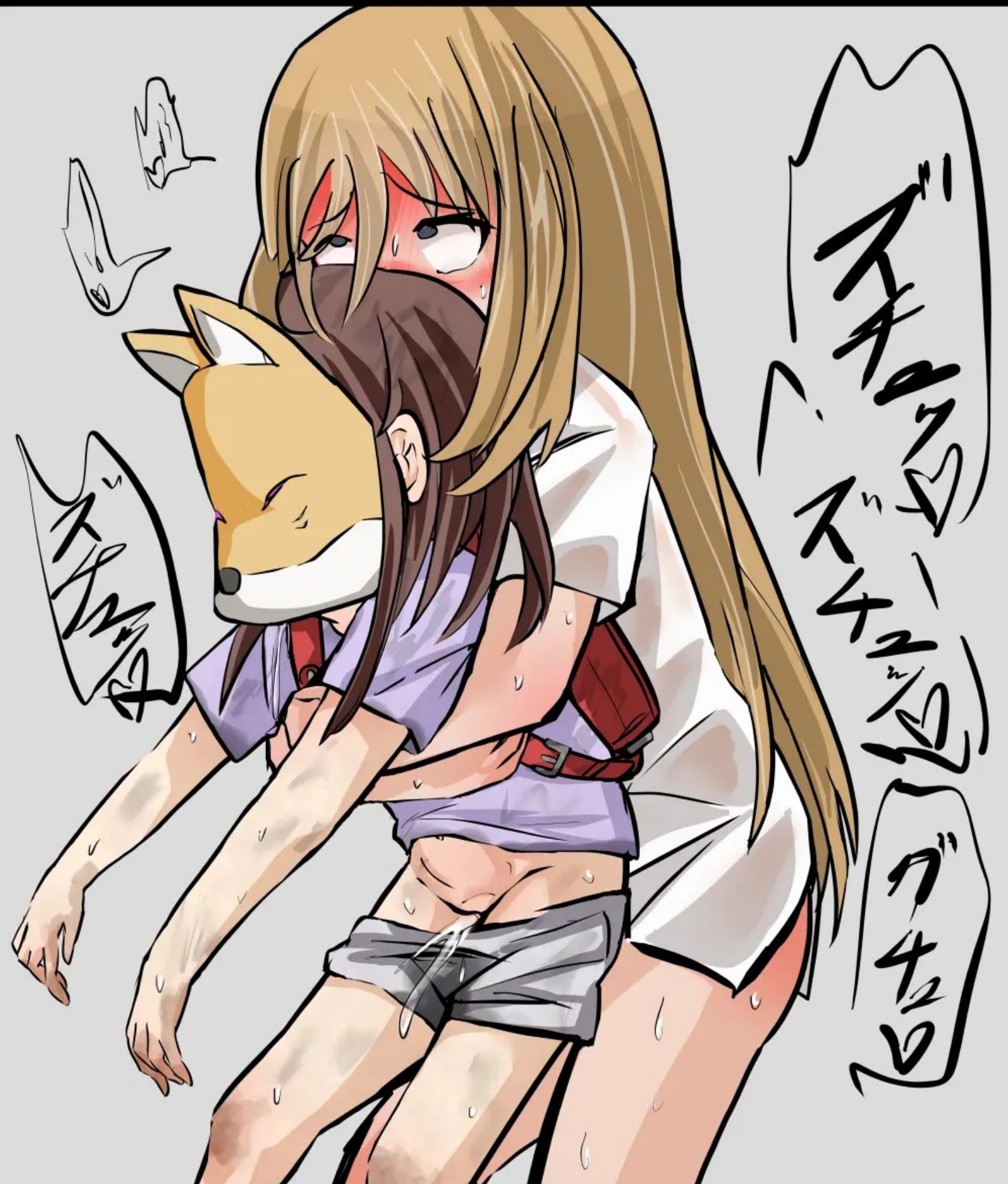
【SCP-~~2000~~_JP】に“つがい”として見染められた人間は、脳を直接弄られ、人格を調整される。

【SCP-~~2000~~_JP】が乗っ取った身体に対する“つがい”として、
並々ならない愛情と、性欲を植え付けられる。
さらには一心不乱に性交渉させるために知性や理性も著しく低下させられる。



【SCP-2000 JP】が求める“つがい”はオスだ。

そのため“つがい”に選定された人間がメスだった場合、さらにその脳を弄りクリトリスを急速発達させ男性器状にさせる。また、卵巣を精巣へと造り変えさせる。このとき“つがい”に選ばれた女性の脳と身体には尋常でない負荷がかかることは必至である。



都合よく脳も身体も改造された"つがい"は、植え付けられた愛情と性欲を抑えられず【SCP-2119-JP】が乗っ取った身体を襲う。

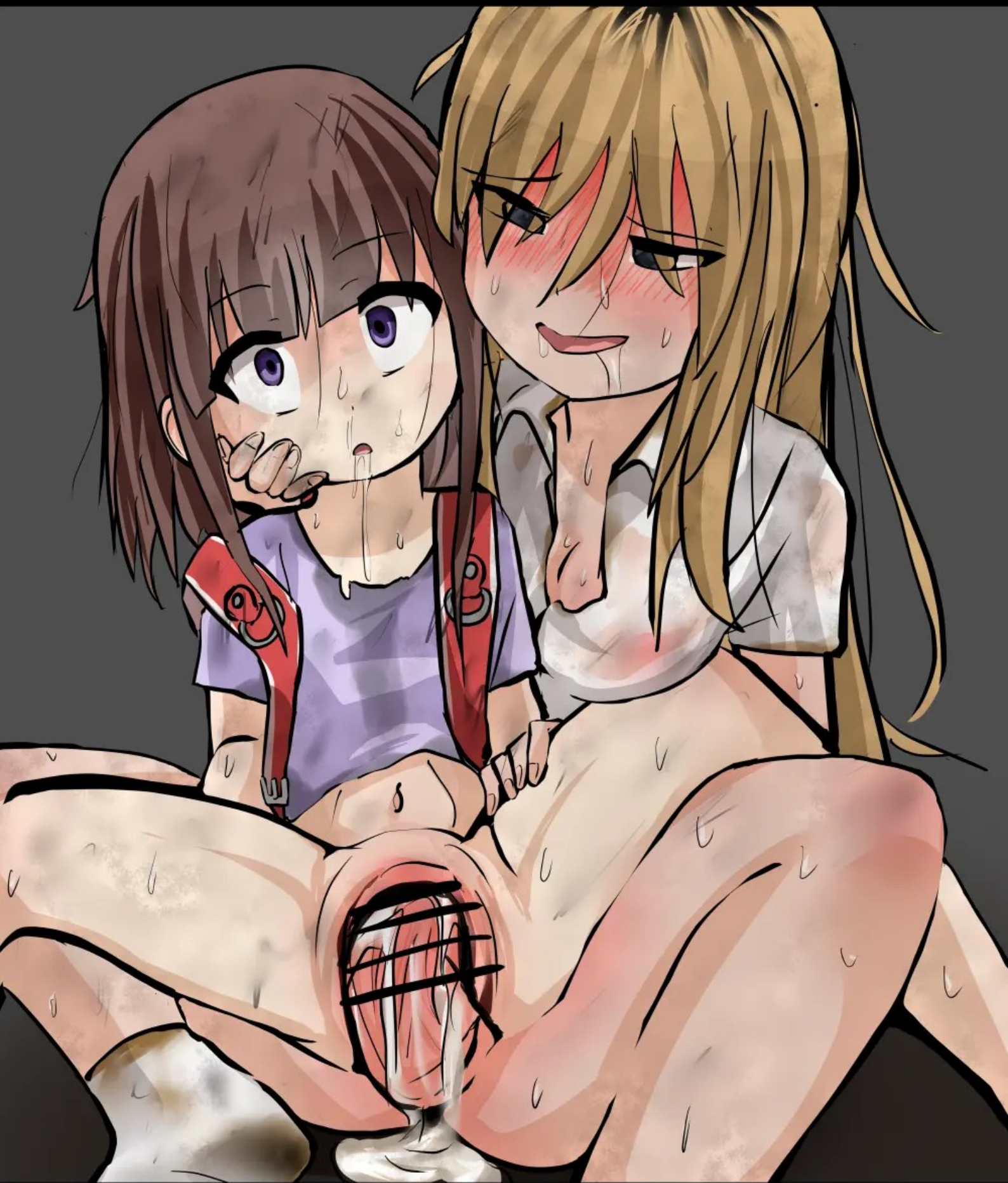
たとえ、その身体が少女であったとしても一切の躊躇もなく女性器を貪り、男性器をぶち込む。



やがて、【~~SCP-240~~ JP】に乗っ取られた身体は”つがい”の精液で妊娠する。

孕んだ中身は不明である。

乗っ取られた身体が何を孕み、産み落とすのか記録にはない。



当財団が【SCP-~~2000~~-JP】に、乗っ取られていたこの身体と、“つがい”を発見し、収容した時には【SCP-~~2000~~-JP】は身体を捨て消え去っていた。この2体は実験・研究用として収容観察中である。乗っ取られていた少女に卵子は1つも残っておらず、産み尽くしたため用済みとなったようだ。また、“つがい”はその少女の身体に対して愛情と性欲を植え付けられているようで、精神崩壊した少女を四六時中犯し続けている。ただ、卵子は使い尽くされているため孕む心配はない。